

インターンシップを通して得たもの
～企業で働くということ、研究職として働くということ～

所属 生物機能デザイン分野

学年・氏名 濱野桃子

大塚製薬株式会社 佐賀栄養製品研究所

私は学部で栄養学を専攻していたため「健康」と「栄養」をテーマにした研究に興味があったということと、研究職という仕事が具体的にどのような形で製品や消費者に貢献ができるのか知りたかったため、2010年9月6日～12日の7日間大塚製薬佐賀栄養製品研究所に研究職としてインターンシップに参加させていただきました。7日間で実習、動物や細胞を用いた実験、製品の立案のシミュレーションなどを経験したことで

○企業で働くということ

○研究職で働くということ

について考え、意義を見出すことができました。

また、多くの学びや気づき、考える機会を得ただけでなく、自分に大きな変化が起きました。それは、

○自分が死ぬまでのビジョンを見据えて人生設計をするようになり、自分にしか出来ない社会貢献の方法を考えるようになったこと

○30歳までにあの研究員のような研究者になりたい!!!という目標を見つけたことで、自分が研究者としてまだ足りない必要なところを発見したり、研究意欲が向上したこと

です。この変化はこれからの自分自身をも大きく変えるターニングポイントの一つになったと思います。

最後になりましたが、インターンシップの受け入れやお世話をいただいた濱田広一郎所長、早瀬秀樹研究員をはじめとする大塚製薬佐賀栄養製品研究所の皆様には厚く御礼申し上げます。